

新潟県

# 公民館月報 6

平成14年6月号 通巻第592号



表紙 千年の森コンサート  
(川西町中央公民館)

特集 小千谷市の子育て事業あれこれ

視 点 子ども大乱戦

ひろば 食育

実践記録シリーズ 遊びにおいてよ楽しい土曜朝

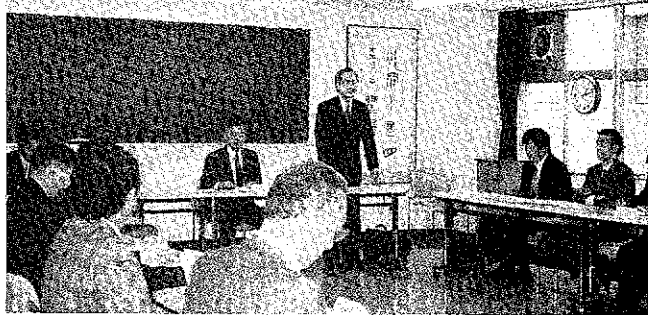
サークル交流 作詩サークル「10」(栃尾市公民館)

神林レク・ダンス(神林村公民館)

素顔拜見 安田恵子さん(三条市)

小塚和也さん(中里村)

# 第 1 回理事会・評議員会開催



## 平成 14 年度 基本方針・重点事業

### 第 43 回関プロ公民館研究大会の事務局体制確立

#### ◆基本方針

- (1) 上部組織との連携・強化
- (2) 職員の資質向上
- (3) 情報提供事業の充実・拡大
- (4) 県公連の体質強化
- (5) 第 43 回関プロ大会の開催

#### ◆重点事業

- ① 関係上部組織との連携・強化(全公連、関プロ公連)
- ② 研修事業の充実(家庭教育支援事業)
- ③ IT 化時代への対応(2 年次目)
- ④ 自己財源確立のための努力
- ⑤ 大会組織・事務局体制の確立

第 1 回理事・評議員

が、新潟市中央公民館で開催さ

会兼第 43 回関プロ大

会第 1 回実行委員会 長伊藤藤様はじめ四人の方をお

迎えて時刻に開催。

議長に、築田勝二氏を

選任、議事に入った。

◆審議内容

一、平成 13 年度会務報告

並びに歳入歳出決算につ

いて

二、役員改選について(別

掲第 3 面役員名簿)

三、平成 14 年度基本方

針・重点目標、事業計画

について

四、平成 14 年度歳入歳出

予算について

五、第 43 回関東甲信越静

公民館研究大会兼第 53 回

新潟県公民館大会の開催

について

六、同右大会の分科会発

表について

七、同右大会への協賛協力要請

について

その他大会関連の事項につ

いての質疑がなされた後、いづれ

も原案どおり承認された。

◆報告・連絡事項

(1) 県公連永年勤続表彰について

(2) 全公連優良職員表彰並びに永

年勤続職員表彰について

右(1)(2)の表彰は、第 43 回関プロ

大会第 2 日目全体会で行われ

ること

(3) 公民館月報の原稿執筆担当に

ついて

◆情報交換

各都市公連持ち寄りの資料説

明がなされた。

なお今回は、関プロ大会実行

委の発会式を兼ねて、新潟市、

二市北蒲公連の代表が参加。

#### 下公連評議員会開催

◇平成 14 年 5 月 14 日(火)

◇新潟市中央公民館

◆審議内容

(1) 平成 13 年度事業報告並びに決

算報告

(2) 平成 14 年度役員異動の確認

(3) 平成 14 年度事業計画(案)

・評議員会・役員研修会

(4) 平成 14 年度予算(案)

(5) 各都市公連情報交換(会議及

び研修計画について)

・なお県公連から、新潟市及び

二市北蒲公連中心に今年開催の

関プロ大会の協力要請がなされ

た。

#### 中公連理事会・ 代議員会開催

◇平成 14 年 5 月 16 日(木)

◇アトリウム長岡

◆審議内容

(1) 役員の改選

(2) 平成 13 年度事業報告及び会計

決算報告

(3) 平成 14 年度事業計画(案) 及

び予算(案)

(4) 第 50 回中越地区公民館研究大

会

(5) 第 43 回関プロ大会

(6) 中越地区館長、主事、公連審

研修

『公民館運営審議会委員の手引—改訂版—』完成!!

A 4 判 5.0 0 0 円 6.8 ページ (送料実費)

『全公連 50 年史』(社)全国公民館連合会

B 5 判 3.0 0 0 0 円 4.5 0 ページ (送料実費)

新潟県公民館五十年誌

A 4 判 3.0 0 0 0 円 3.1 3 ページ (送料実費)

平成14年度新潟県公民館連合会役員名簿  
平成14年5月24日現在

Table with columns: 役職 (Position), 氏名 (Name), 所属公民館 (Affiliated Citizens' Center). Lists various officers and their respective centers across different regions.

山野藤村 佐近 藤口山  
角磯佐下 佐近 藤口山  
後孝晴 栄尚  
稔茂夫 一夫 敬子 子  
俊孝晴 栄尚

視 点

白根風揚 げ男の意 気が空 にとどい て風が立 つ…… 野口雨情・ 中山晋平コ

子ども大風合戦

小林 隆 二

ご存知白根大風合戦は、今年も六月六日から五日間、中之口川を



込んでしまっています。こうして五月晴の空にくりかえされる勇壮な絵巻も、三百年にわたる合戦の歴史の中で磨きあげられた、技の結晶でもあるのです。

この技を受け継ぐ後継者の育成と、大風合戦参加の喜びを、より多くの子ども達に味わってもらうために、中央公民館が「子ども大風合戦」を始めから、今年で二十八回を迎えました。

住民が子ども達と一体となって楽しく導いて下さるこの姿を大切にしたいと思えます。

(白根市中央公民館長)

食 育

入広瀬村公民館運営審議会委員 佐藤 賢 治



知育・徳育・体育、略して「知徳体」は、昔から様々な場面で使用された言葉です。最近この言葉に、「食」すなわち、「食育」を付け加えてはどうかと思うようになりました。

ひ る ば

また、最近若いお母さん方と話をしていると、食事時間が母親のしつけならぬ、子どもへの小言の時間になっていく家庭の多いことに気づかれます。食事はできるだけ家族全員が揃って、しかも、楽しく食べられるよう話題を工夫することも大切な気がします。

食事はあらゆる面で大切なもの、様々なところで「食」を話題にしてみませんか。

# 子育て事業あれこれ

教育課(公民館)

主査 小川民子



う事業を行っています。

30分ほどの短い時間ではありますが、手遊びやパ  
ネルシアターなど楽しいことが盛りだくさんです。

回を重ねるごとに参加者も増え、ネットワーク  
自身も自信を深めているようです。

(4)子育てサークル

## ◎ 発足経過

平成2年度に乳幼児期の子どもを持つ親または  
祖父母を対象に、子育てのための学習機会の提供  
として、「すこやか子育て教室」を開催しました。

終了後、講座参加者に声をかけ、子育てサー  
クル“ひまわり会”が発足しました。当時会員数は  
12組。活動は子育てに関する講演会や親子運動が  
中心でした。

その後、1歳以下くらいの子どもを持つ親を対  
象としたハイハイコースと、歩ける子どもを持つ  
親を対象としたヨチヨチコースを開設しました。  
対象年齢が異なるため、新しいサークルも発足し、  
活動を開始しています。

現在は“ひまわりサークル”“わんぱくサークル”  
“でんでんくらぶ”“元気っ子くらぶ”の4サー  
クルが活動しています。

## ①ひまわりサークル

“ひまわり会”が母体となっているサークルで、  
現在17組の会員数です。

活動日は毎週火曜日、体を動かすことが大好き  
な人が多いのが特徴です。

## ②わんぱくサークル

現在10組の会員数です。

活動日は毎週木曜日、親子遊びを中心にふれあ  
う機会を作っています。

## ③でんでんくらぶ

現在13組の会員数です。

活動日は毎週水曜日、自由遊びや野外活動など  
を行っています。

## ④元気っ子くらぶ

現在3組の会員数です。

活動日は毎週水曜日、子育て情報誌の編集・発  
行をてがけています。

情報誌『元気のもと』は、9冊目を発行しまし  
た。

旬の話題や愛情レシピなど、役立つ情報が満載  
です。

## 《担当者から一言》

核家族で父親不在の家庭が多い中、同じ思いで  
子育てしている母親同士、悩みをうちあけたり、

## △子育てサークル

何気ない会話でホッとする関係が生まれます。

子育てに役立つ情報もたくさん集まり、親子で  
楽しむこともでき、ストレスもたまらずメリハリ  
のある子育てができると思います。

## (5)よみきかせのつどい

図書館において、読み聞かせボランティアの方  
達による読み聞かせを行っています。

## (6)ちびっこわくわくルーム

小学校就学前の幼児を対象に、無料で貸し出し  
しています。

時間は午前9時～午後8時です。



利用状況  
(平成13年度)

月	保護者	子ども	計
4	65	81	146
5	71	67	138
6	79	95	174
7	55	72	127
8	99	131	230
9	66	74	140
10	69	75	144
11	51	61	112
12	56	70	126
1	66	79	145
2	54	65	119
3	75	87	162
計	806	937	1763

## ● おわりに

子どもは「育つ力」を持っています。「育てる」も  
のではありません。

「育てる」という言葉には、何か日標が感じられ  
ます。一定の基準があって、子どもはそこまでたど  
りつかなければならぬ。親もそこまで子どもを  
引っぱり上げなければならぬ。

「どう育てるか」「よい子育てを」と気負うことは  
ありません。

育っていく子どもに親がどう寄り添うか、どう付  
き合うか、それが大切だと思います。

1人で悩まず、短い期間でも楽しい子育て時代を  
過ごしてほしいものです。

先日ある会で、「小千谷は高齢者のまちですね。私  
達子育て世代は弱い存在です。」と言われました。

ますます社会教育課(公民館)として、家庭教育  
をパワーアップしていかなければ肝に銘じたところ  
です。

社会の宝として子どもを育てる!

みんなで子育て!

そんな社会風潮を作りだしていかなければなりま  
せん。



△ちゅうりっぷママ

● はじめに

“子育てって楽しいね!”  
なんて言える人は、いったい何人いるでしょうか?  
“子育てって難しいね!”  
そう思っている人が大半ではないでしょうか?  
子育てには多大な努力が必要であり、困難も伴いますが、親にとって子どもの成長は何ものにもかえがたい喜びでもあります。

現在、少子・高齢化社会が進み、出生数は年々減っています。  
また、核家族化や女性の社会進出等、多様なライフスタイルの影響で、親子を取り巻く環境も大きく変化しています。それらは、育児不安や虐待、心の問題等さまざまな問題を引き起こしています。  
そこで、小千谷市では、家庭の教育力の充実に支援し、家庭教育の活性化を図っていきたくと考えています。

● 安心して子育てができる環境づくり

育児不安が軽減され、親が自信を持って子育てができるような環境をつくるため、幾つかの事業を行っています。

(1)子育て活動企画委員会

子育て活動の充実を図るため、幼稚園保護者・保育園保護者・子育てサークル代表者等の方を委員として委嘱しています。そして、子育て支援に関する企画立案や関係機関等の連携を図り、子育て情報交換を行っています。

委員数…9名

会議……3回/年 市外研修…1回/年

(2)すこやか子育て教室

春期・秋期の2回、子どもの成長にあわせて2コースを設定しています。

子育てのポイントについて学習する機会を提供しています。

★昨年の参加者の声

- ・同じくらいの子どもを持つお母さん達といろいろな話しが出来て良かった。
- ・愚痴を言いあえたことが良かった。
- ・まだはじまったばかりで良くわからないのですが、今後のことを考えるとなんとなくワクワクします。
- ・密室育児になりやすく、不安だったが、たくさんのお話を聞くことが出来て良かった。
- ・子どもも、ここへ来ると嬉しそうにしています。

特集

小千谷市の

小千谷市教育委員会社会

表1 ●ハイハイコース

(まだ歩けない子どもの育児をしている保護者)

No.	テーマ	講師
1	開講式 みなさん、はじめまして…	公民館職員 子育て広場ネットワーク
2	子どもと遊ぼう ～赤ちゃんの喜ぶ遊び～	ゴリラサークルのみなさん
3	子どもと話そう ～子どもの心～	加茂病院管理課副参事 柴田正裕
4	妻と夫のパートナーシップ ～一緒にしようよ 育児と育自～	新潟青陵大学教授 中野啓明
5	突然の緊急時 どうしたらいいの?	小千谷地域消防本部署員
6	閉講式 子どもの心を育てる～しつけ～	乳児園「子どもの家」園長 高橋千恵子

●ヨチヨチコース

(歩ける子どもの育児をしている保護者)

No.	テーマ	講師
1	開講式 みなさん、はじめまして…	公民館職員 子育て広場ネットワーク
2	親子で遊ぼう ～遊び&絵本を通して親子のきずな～	新潟市公民館家庭教育アドバイザー 谷 恒
3	親子で楽しくリトミック ～音楽に合わせて体を動かそう～	ピアノ教室講師 小林とし子
4	ワクワク おやつ! 母子分離教室	市栄養士 岡元 義之
5	ニコニコしてみませんか ～子育てのストレス解消!～ 母子分離教室	新潟落語会会長 水都家 艶笑
6	閉講式 今、子育てに大切なこと	(学)糸魚川幼稚園副園長 吉原 久美子

(3)ちゅうりっぷママ (ネットワーク)

平成11年に、保育ボランティア養成講座を受講した人たちが自主的に発足させました。子育て支援をしている縁の下の力持ち的存在です。

会員は現在21名、小さい子どもがいる人から子育てを経験した人まで。以前の職業も保育士、幼稚園の先生、看護婦などさまざまです。

主な活動としては、市内にある4つの子育てサークルの依頼を受け、子守りのほか子育てについての企画、助言などいわゆるサポートを行っています。

また、昨年からは毎月1回「わくわくひろば」とい

# 実践記録シリーズ (57)

## 遊びにおいてよ楽しい土曜日

見附市北谷公民館 主事 大野 務

### 一、はじめに

見附市の北谷地区には、新興住宅地と田園地帯が混在した北部地区と、昔ながらの田園地帯が広がる南部地区の二つの地区があります。

当公民館は、その二つの地区の真ん中にある岩沢山の麓に位置しています。公民館周辺は、ホタルが乱舞し、メダカが泳ぐ豊かな自然や多くの遺跡群があるなど、環境にも恵まれています。

今回紹介する「遊びにおいてよ楽しい土曜日」は、小学生とその保護者を対象にして、前述の公民館周辺の恵まれた環境を利用しての野外活動や、体験学習のプログラムを展開している事業です。

### 二、事業概要とねらい

この事業は、平成七年から学校週五日制に対応するために始



まり、夏休み期間中を除いた五月から十二月までの、小学校が休みの第二、あるいは第四土曜日に、月一回程度開催されてきました。

事業のねらいは、①家庭や地域でできる野外活動や体験学習を研修することで、屋外で遊ぶ楽しさを理解してもらおうこと。

②自然や文化に親しむ野外活動

や、創作などを楽しむ体験学習を通して家庭や地域の教育力向上を図り、子ども達の豊かな社会性を育成すること。③地区内に二校ある小学校の生徒同士の交流や、大人との世代交流の場となることなどです。

### 三、昨年度の主な講座内容

開催した講座の中で参加者に好評を得た講座は、「自然観察会と野草のテンブラの試食」、「竹とんぼづくり」にチャレンジ、「つくってみよう手打ちうどん」などです。

なかでも当公民館の特色が良く現われている講座は、「自然観察会と野草のテンブラづくり」です。

この講座は、最初に食べられる野草について講師の森林インストラクターから説明を聞いた後に、公民館の周辺や裏山を散策し、植物や小動物の実物を見たり、触れたりしながら自然観



察を行い、その途中で食べられる野草を採取して、公民館へ戻ってテンブラとみそ汁を作って試食するものです。昨年は、ヨモギ、ユキノシタ、イタドリ、ドクダミなどの葉と藤の花をテンブラにして食べました。

参加した子ども達は、「こんな葉っぱも食べられるの?」とか「ちよっと苦かったけど美味しかった」などの感想をもらしながら、和気あいあいと楽しく試食していました。私も試食したのですが、お奨めは藤の花のテンブラです。なんとも言えない食感なので、是非皆さまも機会があれば、お試しくください。

### 四、今後について

この「遊びにおいてよ楽しい土曜日」のプログラムの中には参加者に好評で数年来続いているものもあるが、あまり好評でないものもある。今後参加者の声や地域・学校の情報に敏感にアンテナを張り、既存のプログラムの改善や新しいプログラムを取り入れたりしながら、試行錯誤を繰り返して、より北谷地区の特色を生かした良い事業に発展させたい。

また、今年度は完全学校週五日制がスタートしたばかりなので、休みが増えたことによる子ども達の生活の変化や影響などを見ながら、子ども達が自分で行動することができる「生きる力」を子ども達に育むにはどうしたら良いかを、地区の諸団体と一緒に考え、連携しながら、これからの講座に反映したいと考えている。



# サークル交流

## 豊かな感性と 新しい感動を求めて 作詩サークル「10」

公民館「作詩教室」の学習日程が終了した際に、又と無い学習の場を無くしたくないと言う意気投合の中から生まれたサークルです。講師は、作詩教室の時の先生(柏崎市在住・自由詩「タムレ」主宰)に引き続きお願いしています。会費は年間五千円、定例会は月一回(第三水曜日)文化センター和室を教室に、午後七時三〇分～九時三〇分まで、作品の発表、つづいて

発表作品についてのお互いの感想、次回の活動の検討、「...でなければならぬ」などと堅苦しい会では有りませんから、みな伸び伸びしています。

運営、活動については、豊かな知識と幅広い人脈をお持ちの公民館主査から相談に乗って頂いています。

八月には、公民館ギャラリーを会場に「花と詩」と題して作品の発表を行います。また、地域で活躍されている、シンガーソングライターの方から詩に曲を付けて頂くに励みになっています。(務尾作詩サークル「10」)

丸山 更右 記

## ステップ軽くなるく

### ストレス解消!!

### 神林レク・ダンス

発足六年目の神林レク・ダンス。会員数二十名。毎週月曜の七時～九時までの二時間。一、楽しく踊る。一、人との出会い。一、健康のための運動。と三点を柱に平均年齢五十八歳。マンボにジルバ、タンゴにルンバ、ワルツ、チャチャチャ、ブルースに民謡。一人踊りのシ



ングル、ペアで踊るダブル。高齢者にも難なく楽しく動けるステップにアレンジしており、右左、間違えてもニッコリ、そして知らん顔。

レクリエーション、ダンスということで、常に楽しく七〇歳、八〇歳までも続けることを目標に、無理せず、ゆっくりという考えの下、サークル活動をしてゆきたいと思えます。練習曲も百五十曲を越えました。

また、会員相互の親睦を図るため、年二回、お花見、忘年会を計画し、遠出をしたり、楽しんでおります。

今後、シニアの方々のご参加をお待ちしております。

(神林レク・ダンス)

小野 由美子 記

## 三条市中央公民館

### 副参事 安田恵子 さん

三条市の生涯学習の中枢を担う「家庭教育」「成人教育」部門を背負っているのが、この安田お姉様です。公民館に配属されたのは昨年であり、本人も公民館は初めてでしたが、持ち前の勉強熱心と根性で、次々と新しい発想を展開し、受講者の立場に立った講座を企画していま



す。趣味は、細かい体にかかわらず、全国を駆け

巡って行く「山歩き」です。そんな、バイタリーあふれるパワーが、そのまま公民館事業にも反映されています。

もう一つ、安田お姉様の顔は、どこへでも自腹で会議や研修会に参加することです。厳しい財政状況の中で、旅費や参加費が無くて、へっちゃらで出かけてます。このお姉様が居る限り、当公民館はいつまでも安泰でしょう。皆さんもどこの研修会場で見かけたら、ぜひ一言、声を掛けてください。(同公民館館長補佐 西澤 正幸 記)

## 素顔拝見

### 中里村・津南町派遣社会教育主事 小堺和也 さん



させる魅力のある人、という表現が一番当たっている

「お早うございます」、教育委員会の事務室の隅隅まで聞こえわたる小堺さんのいい声。その声に、思わずお返し挨拶をしたくなるような心地が湧き、室内いっぱい、さわやかな「お早うございます」の合唱で花が咲く、これが中里村教育委員会事務室の一日の始まりです。

キラリとして容姿端麗な小堺さん、小堺さんを一言で評するならば、そこに居る幼児からお

年寄りまで、性別を問わず、だれをも明るくし、やる気を起こ

と想います。年は四一歳。東頸、蒲生の生れ。籍は中里中学校にあって、津南町・中里村を掛け持つ派遣社教主事さんです。やる気満々に、完全学校週五日制に伴う受け皿としての「ハローホリデイ」の活動の企画・推進に、目を輝かせて取り組んでいます。(中里村公民館長 南雲 昭治 記)

恵贈資料紹介

日本ユースホステル運動五十年史

(財)日本ユースホステル協会

Λ4判37頁の大冊の記念史は、大きく分けて四部構成となつてい



に至るまで1第8章にわたって稿を起こしている。少子高齢化時代到来の今、ど

〔一〕ごあいさつ、〔二〕写真グラフィック、〔三〕年史編、〔四〕資料編。とくに年史編は、丹念に精密に記述されている。ユースホステル運動の誕生から、ユースホステルの新しい理念構築の時代



う運動を進展させるのが大きな課題となっている。なお、新潟県内、ユースホステル会員の入会申込みは、新潟三越店内、新潟県YH協会を受けている。TEL・FAX〇二五二二二二一七八九。

恵贈資料紹介

全公連50年史

(社)全国公民館連合会

B5判100頁にわたるこれも大冊の記念史である。

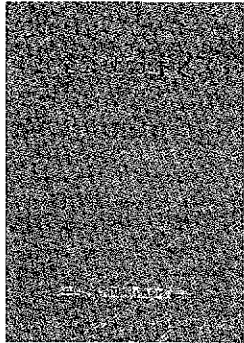
単行法への動きと社会教育法の一部改正、第3章全国公民館大会等の開催、第5章生涯学習時

代の公民館等々、学術研究用の参考資料文献としても大変価値の高い史料である。

会長の発刊のことば、文部科学大臣の祝辞、そして内容は、第1部通史編、第2部年表と写真で見える50年の歩み、第3部都道府県公連の活動状況、第4部資料編とから構成されている。

内容面では第1部の序章公民館連合会前史、第1章全国公民館連合会の設立、第2章公民館

校正作業の末端をお手伝いした当会会長と共に、印象深く手に取ることができた。都道府県公連活動状況の記述スペースが十分とれなかったのが残念である。残部若干県公連にあり、一部三千円(送料別)



平成14年7月の催物ご案内

夏の特展展 7月25日(休)~9月1日(日)

からくりの世界

(主な展示)

- 〇 日本のからくり  
茶運び人形などの日本のからくり人形の实物や復元人形を中心に展示します。
- 〇 オートマタ(西洋のからくり)  
鳥と遊ぶ少年などのオートマタや最新のオートマタ人形を展示します。
- 〇 からくり人形実演コーナー  
布ざらし人形、巫女籠(みこじ)人形などの実演をします。
- 〇 参加型からくり  
動くくみを大きくとりだした参加型大型からくりを展示します。
- 〇 からくり玩具  
日本各地に伝わってきたからくり性のある郷土玩具(からくり玩具)を展示します。
- 〇 からくり独楽  
子どもの遊びで、人気のある独楽のなかで、特にかからくり独楽を取り上げます。

料 金	大人	小・中学生
入館料	510円	310円
入館料+プラネタリウム料	710円	410円

など  
 〇幼児、障害者手帳の方は無料です。  
 〇プラネタリウムを観覧される場合は入館料が必要です。  
 〇20名以上(有料入館者)の団体は割引制度があります。

7月の休館日は、1日(休)、8日(休)、15日(休)、16日(休)、22日(休)、23日(休)、29日(休)です。  
 ※ 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)の定休日のほか、設備点検整備等のための休館日があります。(7月は16日(休)、23日(休)です。)  
 お問い合わせ先  
 電話 (025)283-3331 FAX (025)283-3336  
 Eメール nsm@coral.ocn.ne.jp  
 ホームページ http://www.lalanel.gr.jp/nsm/index.html  
 新潟県立自然科学館

あとがき

◆関プロ大会準備本格始動というところですが、大会参加申込み、大会資料作成、全体会、分科会運営等のそれぞれの部会が開か

表紙解説

千年の森コンサート

ブナの天然林「二六公園」をステージに春の森林浴と音楽欲を楽しみ、地域のふれあいを深める催しとして毎年行われています。

(川西町中央公民館)

発行所 新潟県公民館連合会  
 〒951-8053  
 新潟市川端町2-9・県林業会館内  
 TEL・FAX (025)224-6073  
 発行人 会長 今井昭友 友夫  
 編集人 事務局 鈴木友夫  
 印刷 第一印刷所  
 〒950-8724  
 新潟市和合町2-4-18  
 TEL(025)285-7161 FAX(025)282-1776  
 【定価1部150円 年共1,800円】

◆訂正とお詫び!! 前号3面ひろば欄見出し、「拓本の採る人々」は「拓本を採る人々」にご訂正下さい。(鈴木記)